

## 令和 6 年度金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校第 78 回入学式

### 式辞

満開の桜のなか、新しい出会いに期待が膨らむ今日の日。

保護者の皆様のご臨席のもと、ここに令和六年度金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校第 78 回入学式を挙げていくことは、入学生はもちろん在校生、そして私ども教職員にとりまして大きな喜びであります。

本日の入学式を迎えるにあたり、金沢大学和田隆志学長をはじめ金沢大学教職員の皆様、同窓会の皆様、そして本校を支えてくださるすべての皆様に心から感謝申し上げます。

ただ今入学を許可しました 120 名の新入生の皆さん入学おめでとう、在校生、教職員一同君たちを大いに歓迎します。そして保護者の皆様には心からのお祝いを申し上げます。

さて、金沢大学附属高校の歴史は昭和 22 年 5 月 24 日金沢高等師範学校に旧制の附属中学校が付設されたことに始まります。翌年の 4 月には学制改革により附属高校となり、以来「自主自律」の校訓のもと生徒と教職員がともに学び、自己を磨き高める教育活動を展開してきました。

「自主」とは 他からの干渉や保護を受けずに独自に行うこと、「自律」とは 自分の気ままを抑え自分のことは自分でやっていくこと。自主と自律をうまく調和させ自己を高めるには大変な困難を伴います。能力を高めれば高めるほどに沸き起こる過剰な自我を抑えつつ、自分の進む道を究め社会に貢献する。まさしく自己との内的な戦い自分自身への挑戦です。私たちの金沢大学附属高校は、躓いたり迷ったりしながらも仲間と共に励まし合い「自主自律」を身につけ自分の道を探し達成する学びの場です。

本校の使命に、高等学校教育の理論的実証的研究があります。これらの研究の目的は日本の高等学校教育の諸課題にいち早く取り組み成果を広めることです。何事も初めての取り組みにはモデルとなる例も少なく、不安を伴います。そして不安を乗り越えるには勇気を要します。附属高校は共に勇気を振り絞り挑戦を続ける仲間がいる学校です。

そして、この挑戦の行く先には君たちを国際社会で新たな創造に貢献するグローバルな人材に育てるという大きな目標があります。

今、新入生の君たちは希望とともに様々な不安も抱えていることでしょう。そんな君たちにある言葉を送ります。

Be Water My friends 「友よ 水になれ」

水は四角いグラスに入れば四角い形になり、三角のグラスに入れば三角の形になる。また細くもなり太くもなり、二つや三つに分かれてもまた一つになれる。そして勢いをつければかたい岩を砕くこともできる。水のようにあれば柔軟に、そして力強くなれる。 Be Water My friends 今この瞬間から柔軟にそして力強く、何があろうとも一緒に乗り越えていきましょう。

最後に私ども教職員すべてが全校生徒と保護者の皆様、そして同窓生の皆様と力を合わせ君たちがより多くのことを成し遂げ、喜びに満ちた人生を歩むように、誠心誠意携わることをお約束し式辞といたします。

令和6年4月8日

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校  
校長 南波 聡